

空間を装う絹

有史以前より貴重な美しい天然繊維として大切にされてきた絹。平安時代に花開いた国風文化には、人々の願いや想いが込められた様々な紋様が生まれ、絹織物はより華やかに彩られました。千年の時を経た現代でもその絹と紋様の美しい文化は、きものとして受け継がれています。

伊と幸は、京都室町の白生地メーカーとして1931年に創業し、日本の絹織物を織り続けています。着物の染め加工生地として、その品質をご評価を頂き、ご皇室においてもご使用頂いております。

白生地ブランドの「伊と幸」として永年培った感性や絹織物の文化を、合わせガラスに封入することで、内装材、インテリア資材として、新たな視点からご提案致します。光を通して煌めく繡い糸、繊細で精巧な織り、染めや金彩工芸の技、想いをうつす様々な紋様…「衣」の文化を「住」空間へ。絹が紡ぐ日本の文化を現代の空間素材として再提案する「絹ガラス」をご紹介します。



輪つながりは七つの宝にも価
いするというご縁を尊ぶ七宝
紋様が映える欄間

京都平安神宮衣裳室



寄せては返す永遠の営みを象
徴する遠波紋様に金彩の流れ
が美しい現代の高砂

博多名門ホテル パンケット



節糸を織り込んだ霞絹に伝統
工芸士の描く源氏香が光る
ベッドのヘッドボードパネル

JR 西日本ヴィアイン京都駅八条口

絹 ガ ラ ス Silk Glass

Silk glass 絹ガラス

絹ガラスは、絹織物を2枚の板ガラスで挟み、中間膜で圧着した5層構造の合わせガラスです。ガラスに封入することで空気と紫外線の影響がなくなり、絹の退色劣化を防ぎます。衝撃に強く、災害時などに万一破損しても、ガラス片が飛散・脱落しにくい安全なガラスです。オフィス、商業スペースのガラスドア、パーテーションとして、またホテル内家具やテーブルトップ、住宅の間仕切りドアなど、目的と用途に応じた加工が可能です。

最大寸法 薄絹刺繍 W900×H3000
紋紗・金通し W1100×H3000
霞 絹 W1400×H3000
最大寸法を超える場合・異形の場合は別途ご相談ください。

板 厚 FL3+FL3 ～
WFL3+WFL3 ～

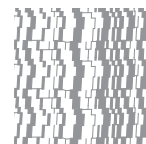
※単位：mm

「絹ガラス」は株式会社伊と幸の登録商標です。
登録第 5509316 号

ガラス
中間膜
絹織物
中間膜
ガラス

渦巻き紋様に
プラチナ箔と純金箔

Pattern 刺繍柄



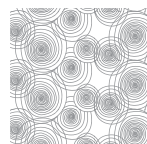
氷割
JY90817



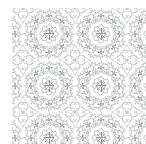
大王松菱
JY90818



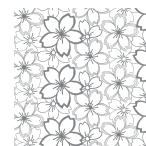
遠波
JY90815



渦巻き
JY90823



宝相華紋
JY90768



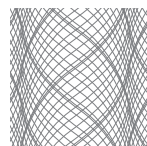
桜重ね
JY90829



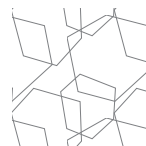
糸菊尽し
JY90825



葡萄唐草
JY90867



巻網
JY91266



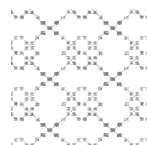
永遠の石
JY91106



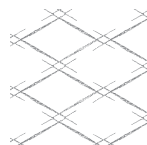
七宝
JY91334



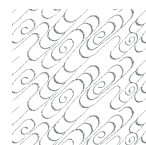
麻の葉
JY91323



花織紋
JY91500



切子菱
JY91507



観世流水
JY91515

Option 特注

Kasumiginu 霞絹

霞がかかったような透け感の霞絹。「玉繭」と呼ばれる特殊な繭から紡がれた不均一な節糸を織り込んだ、自然の風合いが特徴の生地です。

着物と同様に刷毛で丁寧に染める引き染め技法により、その節がより引き立ち、素朴ながらも品のある、深い味わいに仕上がります。



Gold Leafing Art 金彩工芸

着物を華やかに彩る金彩（きんさい）工芸。伝統工芸士である職人の手仕事により金箔を施します。ガラスに封入すると、光を受けて金箔が浮かび上がり、比類なき意匠ガラスになります。

